

# 学校ボランティア, 学級経営に貢献度大...

授業の中で、休み時間に、子どもたちに受け入れられている学生の姿は、頼もしくもある。

## 福島市立清明小学校・杉妻小学校編

「ボランティアの学生さんが来てくれて、本当に助かってます。自分から積極的に子どもたちに関わってくれて、担任からも『学生が学級に入ってくれて、とてもありがたい』との声が多く聞かれます。」と、ボランティア実践校の各校長が異口同音に語る。学生の実践的指導力を身につける上で、確実に役立っているだろうと実感できる場面も多い。



### 【福島市立清明小学校】

『学校ボランティアをはじめて』

人間発達文化学類 文化探究専攻  
3年 真船 紗弥

私は、10月から毎週月曜日に清明小学校へ行っています。子どもたちと一緒に登校し、放課後まで過ごせる時間、現職の先生方と話せる機会は私にとって、将来教員になりたいという気持ちを再確認できる有意義な時間となっています。

また、日ごろの講義の中で「授業」について改めて考えたときに、実際に学校で参観して学ぶことが一番であると感じ、学校ボランティアを始めようと思いました。通い始めのころは、週に一回しか行くことができず、自分に何ができるのか不安がありました。し



音楽授業：曲の進行を示し、練習に協力。  
女兒は、少しずつ自信増加！

かし、回を重ねるごとに子どもたちの小さな変化や成長を感じることができ、学校に行くのがより楽しみになりました。その中で、今日は発問に注目して参観しよう、子どもたちの表情に注目しよう、といったように参観するうえでの視点について考えるようになりました。さらに、自分がこの授業をする時にはどんな問いかけや教材を使うのかも考えながら参観しています。そうすることで自分自身の課題が見つかり、その課題を学校ボランティア支援室の先生方や友達と話す中で解決していくことができ、新しい発見にもつながっています。

今後も継続的に学校に行き、感じたことなどを共有し合いながら自分の学びにつなげていきたいと思っています。



休み時間：楽しい歓談も織り交ぜながら算数プリント完成に一役。



担任から学べることは、記録・記録・記録！ 子どもの想いに立って、適切にアドバイス

### 【福島市立杉妻小学校】

『4月1日を迎えるにあたって』

人間発達文化学類 文化探究専攻

4年 鈴木 香菜子

教員採用試験を終え、12月から学校ボランティアを再開しました。3年時の活動は採用試験でもとても役立ち、面接等で自分の実体験を踏まえて語ることができました。今は、4月から教師として子どもたちの前に立つのだという意識をもって活動しています。昨年度は、不登校の児童と一対一でかわりながら個の児童理解に取り組んできました。4年時の現在は、3年3組に入らせていただき、個から学級全体へと視野を広げて児童理解に努めています。

最近感じている課題は、子どもたちに対して、どの場面で指導が必要なのか、指導する際にはどんな方法をとるべきか自分の中で迷いがあることです。学級では、子どもたちの「すばらしいな」と感じる言動や「これはまずいな」と感じる言動と幾度となく遭遇します。しかし、私の中にそれらを判断する明確な基準

がないこと、基準がないから指導の仕方もあいまいになることに気が付きました。担任の先生に相談すると、判断基準は先生方一人一人で異なること、自分なりのぶれない軸を見出していけるといいねというアドバイスをいただきました。今は先生の指導の様子を見ながら自分だったらどうするかと常に考え、自身の実践につなげていくことを意識しています。私は、集団の輪を大切に、学級の子ども全員の笑顔あふれる学級をつくりたいという思いがあります。そのために、自分の中で軸をどこに設定し、どう働きかけていくか、少しずつ明確化させていきたいと思っています。

### 【学校ボランティア支援室から】

指定された学級へ学校ボランティアに入る。ボランティア回数が増えると、子どもたちに馴染み、学生にとっての心の居場所にもなり得る。

指示されたことを手伝う事に加え、自分のテーマを決めて参加することも効果が大いのではないかと思う。「教師の発問」「板書」「指示の仕方」「ノート指導」「課題提示方法」「特に指導を要する子への接し方」「子どものほめ方」等々。